

輸出管を切断して、または未切断の状態のまま、再び陰嚢に押し戻し、一定時間経過後に精巣を採取した。また、コントロールとして、精巣を移動させることなく原位置から採取したものを作製した。これらから組織切片を作製して精巣内の観察を行った。

【結果】 精巣輸出管を切断した精巣では、処置直後は精巣輸出管が開放されていたものの、やがて、変性した上皮などにより精巣輸出管が塞がり、結紮した場合と同様に精巣網の拡張と精上皮の変性が認められた。一方、精巣輸出管を切断せずにただ陰嚢へ押し戻した精巣では、結紮していないにも関わらず、処置直後に精巣網が著しく拡張し、多くの精子が精巣網内に貯留している像が観察された。

【考察】 精巣輸出管が切断された精巣では、長期的には精巣輸出管結紮と同様の現象が起こると考えられた。また、未切断のまま陰嚢に押し戻した精巣の観察より、精巣へのごく軽微な外力でも、精細管から精巣網への内圧が上昇すると同時に、多くの精子が精巣網まで急速に運搬されることが推察された。

12.

精巣内における遊離精子の分布

(医学部医学科4年)

○金澤 優太、清水 希来

(人体構造)

表原 拓也、小川 夕輝、永堀 健太

河田 晋一、宮宗 秀伸、李 忠連

伊藤 正裕

【緒言】 精子は精巣の曲精細管で形成され、直精細管、精巣網、精巣輸出管、精巣上体管と続く精路を通過する。しかしながら、精子がどのように遊離し、輸送されるのか詳細は分かっていない。それらを調べるために、精細管内における精子の付着程度、遊離した精子の数と分布を検索した。

【材料と方法】 90日齢のマウスの精巣から50µm間隔で5µm厚のパラフィン切片を作成し、曲精細管内に遊離した精子の数と精上皮stageを記録した。さらに、その分布を3次的に解析した。

【結果】 遊離精子が見られる精細管断面は全ての精細管断面のうち5%程度であった。精上皮stageVII/VIIIでは精細管の全周に精子が付着していたが、stageVIII/IXではまばらに付着していた。遊離精子

はまとまってみられることは少なく、数個が散在して観察されることがほとんどであった。それらは、精上皮から精子が遊離するタイミングであるstageVIII/IXに対して精巣網から遠ざかる方向にも存在していた。

【考察】 stageVIIIにある精子はstageIXとの境界から順に同期して遊離するわけではないことが推察された。また、局所的には、必ずしも遊離精子の流れが一方向に定まっているわけではないことが示唆された。

13.

Long-Term Outcome in case with Insufficient Recovery of Fractional Flow Reserve even after Optimal Drug-eluting stents Implantation : 3-Year Results From the FUJI Study

(八王子：循環器内科)

○外間 洋平、田中 信大

(循環器内科)

村田 直隆、山下 淳、近森大志郎

BACKGROUND Adequate improvement of FFR is not necessarily achieved in some cases even after angiographycal success of drug eluting stent (DES) implantation. We hypothesized that the patients with inadequate post-stent FFR had diffuse coronary atherosclerosis not only in target lesion but also in vessel of the whole body, therefore it may relate with the cardiovascular events. Then, we conducted a prospective, multicenter registry (Significant of FFR measurement just after DES implantation for the prediction of prognosis: Fuji study) which was exploring the implication of FFR just after DES. In this study, we experienced cases in which FFR couldn't be improved sufficiently even after angiographycally optimal DES implantation.

OBJECTIVES This study was designed to assess the relation between FFR value after DES implantation (post-stent FFR) and its prognostic value in predicting long-term outcomes.

METHODS Two hundreds and eighteen cases were registered into Fuji study.

We divided those cases into two groups; adequate